



河川管理のお仕事 「洪水に備える点検訓練『排水ポンプ車編』」

今回は、「洪水に備える点検訓練『排水ポンプ車編』」の現場レポートです。

排水ポンプ車は、洪水時に市街地で浸水被害が発生又は発生しそうな場合、自治体などからの要請を受け、機動的に現地に行って排水を行うものです。



30m³の排水ポンプ車



60m³の排水ポンプ車
(ポンプが大きいためクレーンが必要です。)

岩手河川国道事務所には、排水ポンプ車が9台あり、1分間に30m³(ポンプ数6台)くみ上げられる能力のものと60m³(ポンプ数2台)くみ上げられる能力の排水ポンプ車が、盛岡・水沢・一関の各出張所管内に保管されています。ちなみに、1分間に30m³の排水ポンプでは、小学校の25mプールで約10分で空にします。60m³の排水ポンプでは、約5分で空にする能力を持っています。

保有している排水ポンプ車を、実作業を担当する作業員が組立、設置、排水まで行い、本番が来たときに迅速に対応できるように訓練を行うものです。

訓練は、市街地などに浸水が発生しているという想定で、北上川に流れ込む河川の場所で実際に排水ポンプでくみ上げる、実地訓練です。

作業員は、実稼働を念頭に間違いのないよう慎重に手順を確認しながらの組み立てています。

設置完了後は、ポンプの電源を入れて排水となるのですが、スイッチを入れる前には、安全のため、ポンプとホースの接続状況やホースの固定状況について慎重にチェックします。

排水が始まり、しばらくの間は水漏れや不具合が発生していないか確認が必要で、ある程度落ち着くと、一安心という感じでした。

練習あつての本番なので、安全安心の確保のための取り組みを進めています。



ポンプ設置



慎重にホースとポンプを接続
(30m³用ポンプ1台は、人力で運べるサイズです)



はき出し口は、暴れないように固定



排水中

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 河川管理課

〒020-0066岩手県盛岡市上田4丁目2-2

代表019-624-3131 直通019-624-3281 FAX019-624-3276